

現代韓国朝鮮学会

本部：

大東文化大学経済学部 高安 雄一
〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1

企画担当：

桜美林大学リベラルアーツ学群 塚本 壮一
〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

編集委員会（『現代韓国朝鮮研究』）担当：

名古屋外国語大学現代国際学部 福島みのり
〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57

学会賞担当（推薦状送付先）：

日本貿易振興機構アジア経済研究所
新領域研究センター 安倍 誠
〒261-8545 千葉市美浜区若葉 3-2-2

総務担当・事務局：

常葉大学外国語学部 崔 慶原
〒422-8581 静岡市駿河区弥生町 6-1

会員管理係

（入会申込書の郵送先、会費、住所変更、退会などの問い合わせ・届出）：

中西印刷株式会社 学会フォーラム内
現代韓国朝鮮学会会員管理係
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入
FAX：075-415-3662 E-mail：ackj@nacos.com

編集委員会

福島みのり（委員長：名古屋外国語大学）
森類臣（摂南大学）
金明中（ニッセイ基礎研究所）

編集後記

今号の特集は「日韓国交正常化60周年」をテーマとして取り上げました。10年前に刊行した第15号でも「日韓国交正常化50周年」を取り扱いましたが、「日韓国交正常化50周年を越えて」というタイトルで、1965年の当時交渉をめぐる問題、すなわち請求権問題、戦後補償訴訟などに焦点を当てた企画となりました。今号の特集は60周年を区切りに、過去の日韓関係を振り返りながら、日韓関係の「これから」の展望に焦点を当てました。日韓の政治・外交、経済、文化交流分野の専門家に依頼しましたが、「国交正常化60周年を迎えた日韓関係に関する構造的接近」（政治・外交）、「日韓経済関係60周年—援助と垂直分業から競合、そして新たな相互協力へ」（経済）の2本のみ掲載することになりました。文化交流分野の執筆者には連絡が取れなくなり、残念ながら特集としては不具合な形となってしまいました。今号に掲載できなかった文化、人的、学術交流関連の論文は次号で追加できればと思います。

独立論文は4本が入り、1本は1次審査で「不掲載」、もう1本は1次審査で「大幅に修正で掲載可」となりましたが、執筆者自らが取り下げました。残りの2本は再査読までいきましたが、最終的な判定は「掲載見送り」となったため、今号の独立論文は「なし」という結果となりました。掲載が叶わなかった投稿者には是非次号に再度挑戦いただければ幸いです。

編集委員会委員長として力不足ということもあり、今号は学術誌として芳しくない形になってしまい、申し訳ない気持ちです。お忙しい中、特集や書評の原稿、査読の依頼を快く引き受けて頂いた方々に心から感謝を申し上げます。

編集委員会委員長 福島みのり